

催吐リスク	Minimum	皮 nivo80+ipi3d1c21d×4						
薬剤名	投与経路	投与量	希釈液			点滴時間(分)	投与日(day)	
			mg					
			mg					
			mg					
			mg			mL		
オプジーボ	80	mg/body	生食	100	mL	30	1	
ヤーボイ	3	mg/kg	生食	100	mL	90	1	
					mL			
					mL			
					mL			

内服薬

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$)

Grade3 以上の非血液毒性、血算以外の検査データ異常 ベースラインに回復まで休薬

Grade3 以上の血液毒性 ベースラインに回復まで休薬

Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

減量を行わない

IV. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

G3 以上の下痢 9.3%、G3 以上の倦怠感 4.2%、G3 以上の皮疹 4.8%、G3 以上の ALT 上昇 8.3%、G3 以上の AST 上昇 6.1%、G3 以上の吐き気 2.6%、G3 以上の甲状腺機能低下 0.3%、G3 以上の腸炎 7.7%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

N Engl J Med. 2015 Jul 2;373(1):23-34.

N Engl J Med. 2017 Oct 5;377(14):1345-1356.

最適使用推進ガイドライン ニボルマブ～悪性黒色腫～

ニボルマブ+イピリムマブ併用療法 (21 日間/サイクル 全 4 サイクル
(4 サイクル後、ニボルマブ単剤療法に変更して継続)